報告（１）

令和元年第２回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について

１　会期

令和元年６月５日(水)から６月 25 日(火)まで　21 日間

２　本会議の状況

(1) 発言通告の状況

区分	代表質問	一般質問
発言通告（全体）	６会派	14 議員
うち，教育行政に係る発言通告	３会派	５議員

(2) 質問及び答弁内容　９項目　13 件

区分	質問内容
学校教育部門 （４項目５件）	通学路の安全対策について※（２件）， 緊急情報リアルタイム配信について※（１件）， 部活動経費と学校修繕費について（１件）， エアコンの管理について（１件）
社会教育部門 （１項目１件）	水戸市地域文化財について（１件）
子育て支援部門 （４項目７件）	保育所待機児童について※（２件），開放学級について※（３件）， 公立幼稚園の今後の方向性について※（１件）， 認定こども園に向けた取組の進捗について※（１件）

※は，代表質問の質問内容が含まれている項目

(3)　質問及び答弁要旨

	質問要旨	答弁要旨
代表質問 質問者 新生水政改革水戸 松本　勝久 答弁者 市長 教育長 担当課 学校保健給食課 幼児教育課 放課後児童課 質問内容 通学路の安全対策について	1　市長の政治姿勢について (1)　子どもたちを守り育む環境の充実について ア　通園，通学の安全確保について 本年５月には，滋賀県大津市で園児及び保育士が死傷する大事故や神奈川県川崎市で児童や保護者が包丁で襲われるという凶悪な事件が起きたが，本市のこれまでの通学路における安全対策の取組及び今後の対応について伺いたい。	大津市での事故発生直後，市内の幼稚園・保育所に対し，園外保育場所までの経路の確認及び経路の変更を指導し，川崎市の事件が発生した際には，各学校に対し，登下校時に立哨指導を行うことや地域の見守り体制を強化すること，及び不安を感じた児童生徒の相談に丁寧に対応することを指導したところである。 通園・通学の安全確保のため，全ての小・中学校において，関係機関と連携し，危険箇所の把握と情報の共有化を図り，計画的に改善策を講じ，昨年度までに 72 箇所の安全対策が完了した。さらに，スクールガードによる立哨指導の実施や，子どもの緊急避難所として「こどもの安全守る家」を設置している。また，学校では防犯教室や交通安全教室を実施し，児童生徒自身の安全意識の高揚を図っている。 今後は，現在の取組に加え，今年度から新たに導入された学校運営協議会において，それぞれの地域の実情に応じた対応策等を協議し，地域との協働により，さらなる児童生徒の安全確保に努めていく。
保育所待機児童について	イ　保育所待機児童の解消について ４月１日現在の待機児童の状況と，ゼロの達成に至ってない場合には，その解消に向け，今後の取組を伺いたい。	新たな民間保育所の整備，小規模保育施設の開設等により，定員の拡大を行ってきた。復職する保育士に 10 万円を補助する「保育士就労支援補助金」を創設するなど潜在保育士の確保にも取り組んできた。 今年度の保育所利用申込者数は，昨年度に比べ 100 人以上多くなっている。しかし，これまでの施策が効果を発揮し，本年４月１日の待機児童数は，ゼロを達成できなかったものの，昨年の 30 人から 12 人減少し，18 人となっている。 待機児童ゼロを達成するためには，保育士を確保し，定員まで入所させることができない保育所の解消を図る必要があることから，「新卒保育士就労奨励補助金」を創設することとし，１人でも多くの保育士が市内保育施設で就労していただけるよう支援の拡大を図っている。 今後は，早急に公立幼稚園再編計画を策定し，迅速に公立幼稚園の認定こども園化を図るなど受け皿の確保に努めていく。

	質問要旨	答弁要旨
開放学級について	**ウ　開放学級の受け入れ拡大と待機児童の解消について** 開放学級の受け入れ拡大と待機児童の解消に向けて，これまでの取組や現在の状況，そして，今後の見通しについて伺いたい。	本年度末までに，入級を希望する全ての６年生までの対象児童を受け入れるという目標を掲げ，段階的に対象学年の拡大を図っている。 余裕教室の活用や開放学級専用棟の建設により，待機児童数は５月１日現在，68人となっており，昨年度同時期の106人から減少したものの，解消には至っていない。 そこで，民間学童クラブと開放学級に関する事務を一元的に推進し，放課後児童対策における課題の解決に集中的に取り組むため，新たに放課後児童課を設置したところである。 さらに，新たな取組として，昨年度待機児童数が最も多かった梅が丘小学校の開放学級及び放課後子ども教室の一体的な運営を民間事業者に委託したところ，放課後子ども教室の充実が図られるとともに，小学校６年生までの全ての対象児童の受入が可能となり，待機児童が解消した。 今後，このモデル事業について検証を行い，他校への民間活力の導入についても検討していく。さらに，保護者の多様化する要望にも応えられるよう，開放学級と放課後子ども教室との一体的な運営による放課後の学習支援の充実など，アフタースクール的な要素も十分に取り入れるとともに，民間学童クラブとの連携を図り，本年度末までに，入級を希望する全ての児童の受入ができるよう努めていく。
代表質問 **質問者** **公明党水戸市議会** **五十嵐　博** **答弁者** **市長** **教育長** **担当課** **学校施設課** **幼児教育課** **質問内容** **緊急情報リアルタイム配信について**	**１　市長の政治姿勢について** **⑴　危機管理・防犯体制の強化について** **ア　公立学校における緊急情報リアルタイム配信について** 学校施設において，大規模災害などの情報をいち早く子どもたちに伝達し，安全を確保するため，緊急地震速報などと校内放送システムを連動し，リアルタイムで配信するシステムを導入すべきと考えるが，市の見解を伺いたい。	本市では，緊急的に対応する必要のある事案の場合には，メールや防災行政無線等により，学校に連絡し，その後，学校内で非常放送設備等を用いて，校内へ伝達するなど，２段階による対応を行っている。 緊急情報リアルタイム配信システムは，災害等が発生してから，時間差が生じることなく，迅速に情報伝達を図ることができるものであり，優れた点がある。 今後は，学校で整備している放送機器やシステムへの適合に加え，戸別受信機を新たに設置することなどの課題を整理し，関係部署との連携のもと，緊急情報のリアルタイム配信を可能とする手法の導入に向け，検討していく。

	質問要旨	答弁要旨
保育所待機児童について	**⑵　幼児教育・保育行政について** **ア　待機児童について** 平成 31 年４月１日の待機児童の現状と，無償化に伴う保育ニーズの高まりから待機児童が増えると懸念されるが見解を伺いたい。	今年度の保育所利用申込者数は，女性の就労意欲の向上や 10 月に予定されている幼児教育・保育の無償化の影響もあり，昨年度に比べ 100 人以上多くなっている。 しかし，これまでの施策が効果を発揮し，本年４月１日の待機児童数は，ゼロを達成できなかったものの，昨年の 30 人から 12 人減少し，18 人となっている。 今後，待機児童ゼロを達成するためには，さらに，保育士を確保し，定員まで入所させることができない保育所の解消を図る必要があることから，大学等へ出向いて行う就職説明会の実施や市内保育所に内定となった学生に奨励金として２万円を支給する「新卒保育士就労奨励補助金」を創設することとした。
公立幼稚園の今後の方向性について	**イ　公立幼稚園の今後の方向性について** 公立幼稚園の定員の充足率が低いと聞くが，現状と今後の取り組みの方向性について伺いたい。	本市には公立幼稚園が 19 園あり，その園児数は年々減少し，定員の充足率は本年６月現在 35%となっており，施設の効率的な運営を検討する必要が生じている。 入園児童が減少している公立幼稚園の有効かつ効率的な活用を進めるため，早急に公立幼稚園再編計画を策定し，迅速に公立幼稚園の認定こども園化を図るなど受け皿の確保に努めていく。
代表質問 **質問者** **県都市民クラブ** **袴塚　孝雄** **答弁者** **市長** **担当課** **幼児教育課** **質問内容** **認定こども園に向けた取組の進捗について**	**１　市長の政治姿勢について** **⑴　３期目に向けて目標とする都市像とは。** **ア　公立保育所・幼稚園の認定こども園化について** 子ども・子育て支援策として，小規模保育事業を推進し，３歳未満児の受け皿は増加したが，３歳で卒園する児童の受け皿のため，公立保育所・幼稚園の認定こども園化に向けた取組みが早急に望まれるが，その進捗状況について伺いたい。	10 月から始まる３歳児以上の幼児教育・保育の無償化による影響と，２歳児までを対象とした小規模保育施設に入所している児童の３歳以降の受け皿を確保する必要があることから，早急に公立幼稚園再編計画を策定し，迅速に公立幼稚園の認定こども園化を図るなど受け皿の確保に努めていく。 モデル的に認定こども園の運営を研究してきた内原幼稚園・保育所及び稲荷第一幼稚園・常澄保育所の幼保連携型認定こども園への移行については，来年度を目途に実現していく。また，その他の公立幼稚園についても，保育ニーズの多様化が予想されることから，地域や保護者の方々に十分に御理解をいただきながら，計画的な再編に取り組んでいく。

	質問要旨	答弁要旨
一般質問 **質問者** **日本共産党水戸市議団** **中庭　次男** **答弁者** **教育部長** **担当課** **放課後児童課** **質問内容** **開放学級について**	**1　教育行政について** **⑴　開放学級の運営と支援員の処遇改善について** 開放学級は定員を上回っている学級が多い。改善のためには，学級数の大幅な増設が必要と考えるがいかがか。 本年度末までに，市内全校の開放学級において，６年生までの受入れを求める。 支援員の賃金の引上げや常勤での任用等，待遇改善を図るとともに，増員を図ること。 配慮を要する児童の受入れに際し，国の制度を活用して専門の支援員を配置することを求める。	開放学級の利用希望者は年々増加しており，希望者には可能な限り利用していただくため，運営に支障のない範囲で，定員を超えて児童の受入を行っている。 ６年生までの受入校については，24 校に拡大しており，さらに，新たな取組として，梅が丘小学校において，民間委託によるモデル事業を実施し，６年生までの全ての対象児童の受入が可能となった。民間学童クラブに対する助成についても，本年度は 19 クラブへと拡充し，本年度末までに，小学校６年生までの対象児童の受入ができるよう努めていく。 支援員の待遇改善については，本年度は，１時間相当の報酬額を 900 円から 1,000 円に大幅な引き上げを行ったところであり，併せて，支援員の確保に努めている。 配慮を要する児童への対応については，専門的知識を有する人材の確保が難しい状況にあることから，現在は，それぞれの児童の状況に応じて，支援員の増員により対応している。
一般質問 **質問者** **新生水政改革水戸** **大津　亮一** **答弁者** **教育部長** **担当課** **放課後児童課** **質問内容** **開放学級について**	**1　教育行政について** **⑴　開放学級の充実について** 開放学級の利用者から，急な利用変更への対応がされないなど不安の声が聞かれる。 市のホームページには，利用に関する条件や申請に必要な期間などが掲載されておらず，開放学級の情報を得やすい環境とは言えない状況と考えるが，どう対応していくつもりか伺いたい。	本年度，新たに放課後児童課を設置し，小学校６年生までの受入の実現や待機児童の解消のみならず，開放学級の実施内容の質的向上，民間活力活用モデル事業の検証，さらには民間学童クラブとの連携など，運営上の多様な課題の解決に集中的に取り組むこととした。 急な利用変更などに対しても，さらなる弾力的な運用を検討していく。 開放学級に関する情報提供については，近年，子育て世代においては，インターネットを介して情報を取得することが一般的になっている。今後は，利用者の目線に立ち，利用に当たっての留意事項や，よくある質問等についても掲載するなど，内容を充実させ，開放学級事業のさらなる利便性の向上に努めていく。

	質問要旨	答弁要旨
一般質問 **質問者** **新生水政改革水戸** **小泉　康二** **答弁者** **教育部長** **担当課** **学校保健給食課** **質問内容** **通学路の安全対策について**	**1　子どもたちの安全安心及び教育行政について** **⑴　子どもたちの登下校時における安全対策強化と「みとちゃんピカベスト」の成果とさらなる拡充について** 登下校における交通安全対策の取組の強化が必要かと思うが，状況について伺いたい。 平成 28 年度から毎年度，みと児童安全安心サポート会議から市内公立小学校に通う全小学２年生を対象に，「みとちゃんピカベスト」が寄贈されているが，ピカベストを活用した成果及びその拡充について伺いたい。	水戸市通学路交通安全プログラムに基づき，関係機関とともに，通学路の危険箇所の把握と情報の共有化を図り，昨年度までに市内 72 か所で安全対策が完了した。早急な改善が困難な場所については，立哨指導を行うなど，地域の皆様と学校などが連携し，児童生徒の安全確保に努めている。 「みとちゃんピカベスト」は，昼夜を問わず，周りからの視認性が高く，特に，日没前後の下校時にはドライバーへの注意喚起にもつながり，非常に効果が高いとの評価を保護者や学校，地域の方からいただいている。昨年度は，着用時における交通事故はゼロであり，交通事故の未然防止に非常に効果があると考えている。 子どもたちの安全確保のため，ＰＴＡ連絡協議会や青少年育成会などに「みとちゃんピカベスト」の効果を伝え，さらなる活用を図っていく。
一般質問 **質問者** **日本共産党水戸市議団** **土田　記代美** **答弁者** **教育部長** **担当課** **学校施設課** **質問内容** **部活動経費と学校修繕費について**	**4　教育予算の拡充について** **⑴　部活動経費と学校修繕費について** 部活動経費に対する市の財政的支援の在り方について伺いたい。 学校施設の日常的な不具合にも対応するため，学校裁量で使える修繕費の増額を求めるがいかがか。 **⑵　エアコンの管理について** エアコンのフィルター清掃を保護者が行っている学校があるようだが，維持管理については，市で行うべきと考えるが，市の見解を伺いたい。	部活動経費については，移動式バックネットのように，部として使用するものは，本市が負担している。練習試合等への参加に係る遠征費等の場合，学校後援会費等から支援をいただいている。 学校修繕費について，簡易な修繕は，学校に配当した予算の中で，修繕を行っている。大きな経費が掛かる修繕工事については，学校配当予算とは別に予算措置を行い，修繕を行っている。 教職員などによる日常的な保守管理に加え，今年度から全校において，専門業者による保守管理を定期的に行っている。 今後についても，保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら，さらなる予算の確保に努め，より良好で快適な教育環境の整備に努めていく。

	質問要旨	答弁要旨
一般質問 **質問者** **新生水政改革水戸** **福島　辰三** **答弁者** **教育部長** **担当課** **歴史文化財課** **質問内容** **水戸市地域文化財について**	**1　水戸市地域文化財について** **(1)　地域文化財の歴史及び今後の地域住民への周知，遺産の保存等について** 本年３月地域文化財として河和田，国田の２カ所が認定されたが，水戸市地域文化財制度の趣旨，認定の経緯及び現状，地域住民への周知，今後の取組について見解を伺いたい。	本市には，国・県・市の指定文化財以外にも，地域で守り伝えられている歴史的資源や自然が数多く残っており，これらを「地域文化財」として認定し，その魅力を広く周知するとともに，市民との協働による保護・保存・活用を図るため，平成 30 年度に水戸市地域文化財制度を創設した。 地区会等から推薦のあった４件について，学識経験者で構成される市文化財保護審議会において御審議をいただき，その結果を踏まえ，２件を初めて認定した。 「河和田城跡」については，中世の水戸城主であった江戸氏の本拠地の一つであり，本市の歴史を語るうえで欠かすことのできない文化財である。特に，縄張（なわばり）と呼ばれる城郭設計は，県内でも珍しい貴重な遺構である。 また，上国井町にある「薬師堂の民間信仰資料群」は，江戸時代の仏像をはじめ，14 点の資料をまとめて認定した貴重な民俗資料である。 認定した地域文化財については，修理や保存・活用方法についての助言，学校の教育活動や文化財に関するイベント等での活用，説明板の設置，各種媒体を活用して周知するなどの支援を行うこととしている。 文化財の保存・活用には，地域や市民の皆様の協力が不可欠であることから，今後とも，チラシやホームページ等を活用し，制度の定着化を図るとともに，地域と行政が一体となり，貴重な文化財を守り伝えていけるよう，気運の醸成に努めていく。

次回以降の教育委員会会議等日程（案）

令和元年７月５日現在

区　分	日　時	場　所	備　考
第34回水戸市少年の主張大会	**令和元年７月14日（日） 午後０時30分から**	**ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール**	
行政視察	令和元年７月18日（木） ～19日（金）	岩手県盛岡市 〃　遠野市 〃　釜石市	
第１回教育委員会臨時会	**令和元年７月22日（月） 午後５時から**	**総合教育研究所 研究室５・６**	
総合教育会議	**令和元年８月１日（木） 午後４時から**	**水戸市役所　３階 会議室303・304**	
第３回教育委員会定例会	令和元年８月１日（木） **総合教育会議終了後**	水戸市役所　３階 会議室303・304	**※時間が変更になりました。**
第54回水戸市教育研究発表大会	**令和元年８月６日（火） 受　付　午前８時20分から 分科会　午前８時40分から**	**総合教育研究所　他**	
第４回教育委員会定例会	令和元年８月20日（火） 午後５時から	水戸市役所　３階 会議室303・304	
第５回教育委員会定例会	**令和元年10月３日（木） 午後５時から**	**水戸市役所　３階 会議室303・304**	

※ゴシック体は，追加日程です。